

## 令和5年度 公益財団法人 地域開発研究所 事業計画

### (1) 奨学金給付事業

今年度は、新たに大学院生1名の応募があり、6月より給付を開始した。来年度は、現在給付を行っている大学生3名、大学院生1名に対し、継続して給付を行う。なお、今年度は奨学金制度の対象者を変更するため、変更手続きを行った。制度の変更に伴い、現役学生のみではなく社会人や一定の目的をもった活動を目指す者を対象とした奨学金の給付事業を行っていききたい。

### (2) 調査研究事業

#### ・昭和天皇（皇太子時代）御手植えの松保全管理

昭和天皇が大湊に來臨した際、記念樹として御手植えになられた松の木の保全管理を行っているが、今年度は令和4年11月に剪定作業を行った。歴史的・文化的資産を守るため、今後も引続き作業を行っていききたい。

#### ・柴五郎氏仮住まい跡地の顕彰碑管理

斗南藩の史跡を後世に継承する目的で、令和元年5月に当財団で柴五郎氏の仮住まい跡地の土地を取得し、令和2年7月に柴五郎氏に関わる土地であることを銘記した顕彰碑を建立した。当財団の資産として、今後も管理を行っていききたい。

#### ・青森県内の歴史に関する調査

今年度は、青森県内の歴史に関する調査として、歴史的資料の写真撮影を行った。撮影した写真はデータとしてパソコンに取り込み、表題を付ける作業を行った。歴史的文化の保全・継承・発展を目的として、資料のデジタル化作業を今後も継続して行っていききたい。

また、今年度は、「大間鉄道」に関する資料収集のため、特定歴史公文書の交付請求を行ったが、来年度も研究テーマに関する資料を積極的に入手していききたい。

#### ・明治時代の大湊開港についての研究に対する助成

今年度に引き続き、大湊開港についての研究（明治から戦後まで）に対し、支援を行っていききたい。

#### ・高校生の研究に対する助成

前年度の事業計画にも挙げていたが、高校生を対象に、研究テーマの調査・発表が出来る場を提供していききたい。下北半島の歴史や歴史上の人物について学ぶことで、同地に興味を持つきっかけとなり、今後の地域開発にも繋がるのではないかと考えている。テーマや研究場所等、詳細については今後検討していききたい。

### (3) 地域開発事業

#### ・下北半島に関わることがらと人物の編纂に対する助成

当財団では大湊開港・斗南藩・下北半島史など、下北半島の歴史に関する調査を研究テーマとしている。今年度は、調査研究事業の一環として、当財団で歴史的資料の写真撮影を行い、撮影した写真をデジタル化する作業を行った。今後は、当財団で行う調査・研究だけではなく、下北半島の近代史に関わることがらや人物についての調査・研究（発表・出版含めて）をする研究者や事業者に対しても、支援を行っていききたい。

### (4) 自然保護事業

#### ・植樹事業に対する助成

NPO法人GEMBUの植樹事業に継続して支援を行っており、今後も植樹活動や苗木育成等の活動に対する支援を行っていききたい。また、一般社団法人木々と花々の装いの桜の苗木植樹事業に対しても、前年度より継続して支援を行った。当該事業者のみならず、植樹事業による景観の向上や豊かな街づくりを目指す活動に対して、今後も支援を行っていききたい。

#### ・むつ湾海岸整備事業に対する助成

年2回行われている海岸整備活動によって、毎年多くの不法投棄ごみを取り除かれ、ハマナスの植樹によって海岸は見違えるほど綺麗になっている。町内会や学校関係者、金融団等にも広がりを見せており、更なる美化・整備のために、今後も継続して支援を行っていききたい。

#### ・自然維持管理事業に対する助成

毎年継続して支援を行っている植樹事業や整備事業に限らず、今ある自然を維持・管理するための事業に対しても支援を行っていききたい。

以上